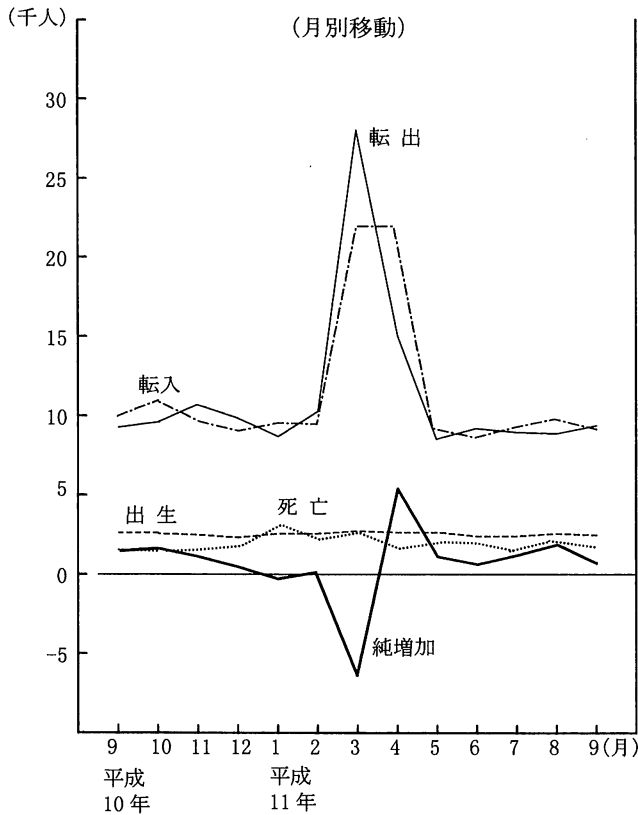


## ■今月の主な動き

# 今日の主な動き

### 人口



### ■人口 (11年10月1日)

#### 9月の概況

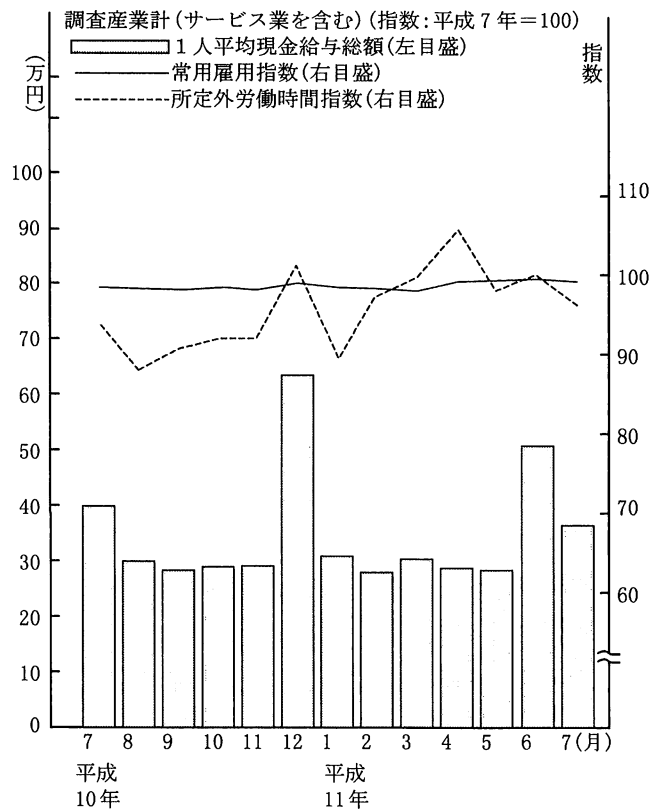
本県の人口は、9月中に616人増加し、10月1日現在で2,998,967人(男1,496,968人、女1,501,999人)となった。

内訳は、自然動態で、881人(出生2,449人、死亡1,568人)増加し、社会動態で、265人(転入9,145人、転出9,410人)減少した。前年同月と比べると5,644人(0.2%)の増加である。

市町村別では、増加が11市33町村、減少が8市29町村、増減なしが4市町村である。

世帯数についても9月中に797世帯増加し、986,253世帯となった。

### 賃金・労働時間・雇用



### ■賃金・労働時間・雇用 (11年7月)

#### 1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、調査産業計で、371,125円、対前年同月比5.4%減であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は270,027円、対前年同月比2.6%減、特別に支払われた給与は、101,098円であった。

#### 2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で、157.0時間、対前年同月比1.6%減であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は147.2時間、対前年同月比1.9%減であった。所定外労働時間は9.8時間、対前年同月比2.7%増であった。

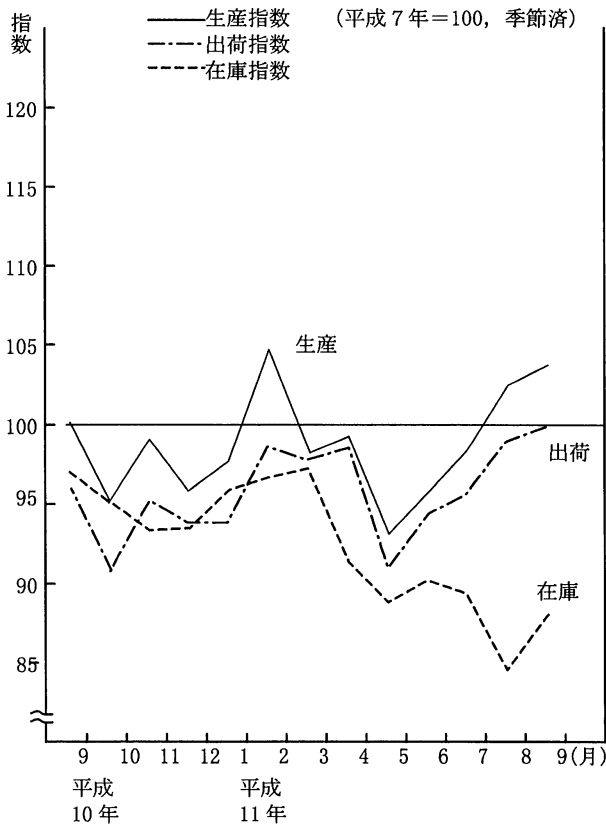
#### 3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.2%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

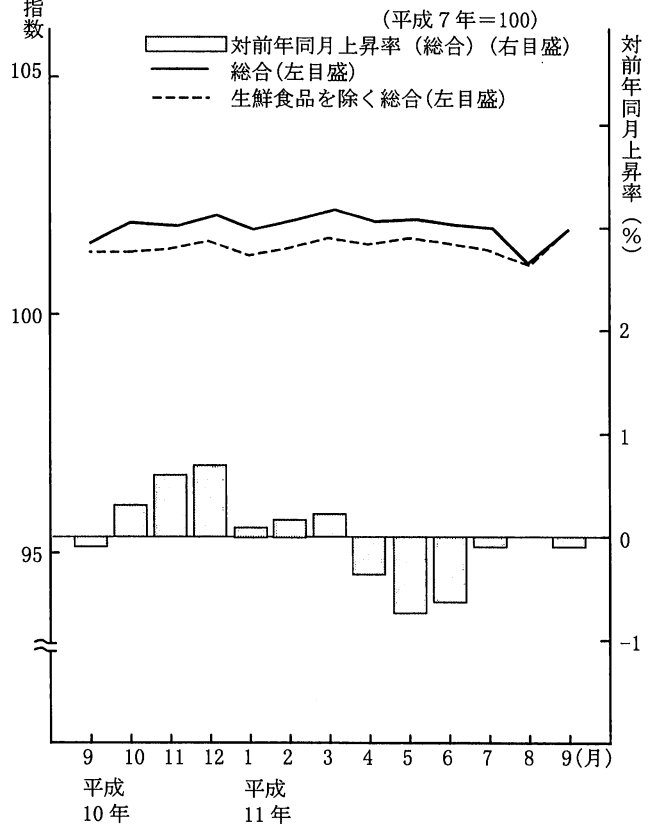


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年9月）

本県における平成11年9月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が104.0、出荷が99.8、在庫が87.9であった。

- 1 生産の前月比は0.6%の上昇、前年同月比は4.0%の上昇であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、輸送機械工業、化学工業等が上昇し、一般機械工業、鉄鋼業、鋳業等が低下した。財別にみると、非耐久消費財、その他用生産財が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。
- 2 出荷の前月比は0.9%の上昇、前年同月比は3.1%の上昇であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、窯業・土石製品工業、輸送機械工業等が上昇し、一般機械工業、鋳業、鉄鋼業等が低下した。財別にみると、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、資本財が低下した。
- 3 在庫の前月比は4.9%の上昇、前年同月比は△8.9%の低下であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、化学工業、その他工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、繊維工業、精密機械工業等が低下した。財別にみると、資本財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（11年9月）

平成11年9月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.8（平成7年=100）となり、対前月比は（+）0.6%の上昇、対前年同月比は（-）0.1%の下落となった。

今月の上がった主な項目・・・衣料9.1%、  
シャツ・セーター・下着  
13.6%

今月の下がった主な項目 生鮮魚介（-）3.0%、  
家庭用耐久財（-）1.3%

生鮮食品を除く総合は101.7となり、対前月比は（+）0.6%の上昇、対前年同月比は増減なしであった。

■ 費目別指数

（平成7年=100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.8	0.6	△0.1	保健医療	110.5	0.0	△1.3
食料	102.8	0.0	0.4	交通通信	97.4	0.2	0.0
住居	101.4	0.0	△0.6	教育	108.4	0.0	0.9
光熱・水道	100.9	0.0	△1.5	教養娯楽	98.7	0.0	△0.1
家具・家事用品	96.0	△0.4	△0.6	諸雑費	102.7	0.2	1.8
被服及び履物	107.6	8.2	△0.6	生鮮食品を除く総合	101.7	0.6	0.0